

昭和五十年年度 国政調査結果（人口）概要

ここに掲載するものは昭和五十年十月一日午前零時現在で全国一斉に行われた第十二回国勢調査による本県の人口概要です。

なお、確定数については昭和五十二年五月十五日までに総理府統計局から公表されることになっておりますが、今回の調査結果概数と相違することもありますので御承知ください。

一 人口

今回の調査結果による本県の総人口は、百七十一万五千十一人で前回の昭和四十五年国勢調査の結果にくらべると実数で一万四千七百八十二人、割合で〇・九%の増加を示しました。

本県人口は、大正九年の第一回国勢調査以来、昭和十年と十五年の間の一時減少を除けば、年々増加傾向にありましたが、昭和三十年と三十五年以降は減少に転じ、この間に二・一%の減少、さらに昭和三十五年と四十年の間ではこれを上回る四・六%の大幅な減少になりました。しかし、昭和四十年と四十五年は四・〇%と減少率はやや鈍化し、今回は前

回にくらべ逆に〇・九%の増加に転じた。（図1、2）

(1) 人口の市部、郡部別割合をみると、市部人口は三万五千九百六十二人で五四・〇%、郡部人口は七十一万八千五百四十九人で四六・〇%を占めており、昭和四十五年の人口より市部人口は四・四%（三万九千三百四十二人）の増加、郡部人口は三・〇%（三万四千四百五十九人）の減少となっており、また、昭和四十年と四十五年の市部人口〇・六%の増加、郡部人口八・五%の減少とくらべると、市部人口の増加率は大きく伸び、郡部人口の減少率が低下しています。なお、市部人口が郡部人口より大きくなったのは、前回調査からです。今回調査では、市部人口、特に県庁

へのUターン並びに農村から地方中核都市への集中化によるものとみられます。

(2) 人口の増減を、市町村別でみると県下九十八市町村（十二市八十七町村）のうち人口が増加したのは、西合志町（三・八%）、草野町（三・七%）、北都町（二・七%）、長洲町（二・七%）、益城町（二・七%）、熊本市（二・七%）、八六%、皆明町（六・七%）、長陽村（三・八%）、松橋町（三・八%）、荒尾市（三・七%）、本渡市（二・七%）、合志町（二・七%）、植木町（二・七%）、八代市（二・七%）、宇土市（二・七%）、玉名市（二・七%）、山鹿市（二・七%）の七市十二町村で人口増加の要因は中核都市である熊本市周辺のベッドタウン化あるいは工場誘致等によるものとみられます。残りの四十七市町村は、いずれも人口が減少しています。地域的には阿蘇、球磨、八代、天草などの農山漁村の過疎化が著しく、なかでも坂本村（二・三%）、八代市（二・七%）、泉村（二・七%）、産山村（三・八%）、清和村（三・八%）、五木村（四・八%）、

昭 10	昭 5	大 14	大 9
1,387,054	1,353,993	1,296,086	1,233,233
33,061	57,907	62,853	—
2.4	4.5	5.1	—
112	110	105	100
680,409	664,106	637,753	602,389
706,645	689,887	658,333	630,844
96.3	96.3	96.9	95.5
7,437.75	743.72	743.72	743.72
186.5	182.0	174.3	165.8
—	—	—	—
—	—	—	—
187,382	164,460	147,174	70,388
1,199,672	1,189,533	1,148,912	1,162,845
13.5	12.1	11.4	5.7
86.5	87.9	88.6	94.3
45.53	37.45	37.45	5.24
7,392.22	7,400.27	7,400.27	7,432.48
4,115.6	4,391.5	3,929.9	13,432.8
162.3	160.7	155.3	156.5
346	350	349	364
1	1	1	1
42	41	40	39
303	308	308	324

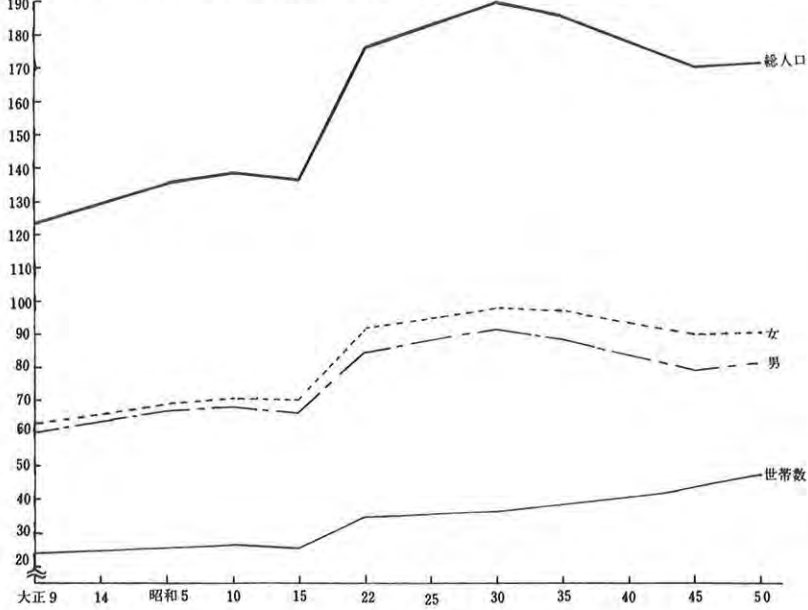
所在市、地方中核都市人口は全国的に増加傾向にあり、本県においても、熊本市は三万八千七百九十九人で県全体の増加人口の六五・八%にあたり中核都市としての機能充実による人口増加、大都市から地方中核都市

図1 人口・面積・世帯および市町村数（大正9年～昭和50年）

	昭 50	昭 45 (組替)	昭 40	昭 35	昭 30	昭 25	昭 20	昭 15
(a) 人口 総数	1,715,011	1,700,229	1,770,736	1,856,192	1,895,663	1,827,582	1,556,490	1,368,179
5年ごとの増減数	14,782	△70,507	△85,456	△39,471	68,081	271,092	188,311	△18,875
増減率(%)	0.9	△4.0	△4.6	△2.1	3.7	17.4	13.8	△1.4
人口の指数(大正9年=100)	139	138	144	151	154	148	126	111
5年ごとの男	809,853	798,152	838,584	887,038	917,171	882,420	847,938	666,886
女	905,158	902,077	932,152	969,154	978,492	945,162	917,788	701,293
性比(女100に対する男)	89.5	88.5	90.0	91.5	93.7	93.4	92.4	95.1
面積(km ²)	6,949.71	7,383.52	7,376.81	7,371.41	7,371.41	7,385.28	7,437.75	7,437.75
人口密度(1km ² あたり)	246.8	230.3	240.0	251.8	257.2	247.5	209.3	184.0
(b) 世帯 総数	473,394	436,469	409,603	388,274	362,477	351,093	—	—
1世帯あたり人員	3.62	3.90	4.32	4.78	5.23	5.21	—	—
(c) 市 部 郡 部								
人口	926,962	887,721	873,078	862,476	749,698	468,201	298,944	227,725
郡	788,049	812,508	897,658	993,716	1,145,965	1,359,381	1,257,546	1,140,454
割合%	54.0	52.2	49.3	46.5	39.5	25.6	19.2	16.6
面積(km ²)	1,419.75	1,391.63	1,387.06	1,373.21	999.06	495.84	400.46	105.77
郡	5,529.96	5,991.89	5,989.75	5,998.20	6,372.35	6,889.44	7,037.29	7,331.98
人口密度	652.9	637.9	629.4	628.1	750.4	944.3	746.5	2,153.0
1km ² あたり	142.5	135.6	149.9	165.7	179.8	197.3	178.7	155.5
(d) 市 町 村 数	98	100	101	104	155	325	323	339
市の数	11	11	11	11	9	5	4	2
町の数	64	61	49	39	35	40	42	42
村の数	23	28	41	54	111	280	277	295

(注) 昭和50年の人口密度計算のための面積は、建設省国土地理院発行「昭和49年全国都道府市区町村別面積調」により境界未定地域は除いてある。

図-2 人口の推移（国勢調査毎）



御所浦町（八〇人、二・二%）、波野村（三六人、二・七%）、水上村（三〇人、二・〇%）、高森町（二〇九人、一・五%）、小国町（二六八人、二・〇%）、球磨村（八八人、二・〇%）が目立っています。（図3）昭和四十年と四十五年の五年間にくら